

BCP等の重要性を確認

東京代協中央支部 防災セミナーなどを実施



井上支部長

第1部は「鉄人防災士」として、防災・BCP対策の重要性やハザードマップを確認することの必要性を訴

同氏は過去の大地震を振り返り、BCPの重要性やハザードマップを確認することの必要性を訴

同氏はこのほか、防災

第1部は「鉄人防災士」として、防災・BCP対策の重要性やハザードマップを確認することの必要性を訴

自分の命は自分で守る 備蓄品使い防災体験も



非常食を試食

クチャーを受けたり、水を入れるだけのフリーズドライご飯や電気や火を使用せずに温め調理が可能なヒートパックで温めた非常食を試食したり、各グループは協力しながら体験した。備蓄品は準備しているものの、使用したことがないという人もおり貴重なワークショップとなった。

第2部は廣川氏が人間ドックで見つかった前立腺がんの治療について講演。2023年に9時間にも及ぶダビンチ手術を受けたという。あらゆる

東京代協中央支部（井上泰弘支部長）は11月11日、京橋プラザ区民館（東京都中央区）で支部セミナーを開催した。南海トラフ地震の30年以内の発生確率が60〜90%以上に見直される等、防災対策が一層重要になっている。第1部の防災セミナーは参加者がグループに分かれて非常時の対応等を体験した。また、第2部では中央支部前支部長の廣川弘城氏ががんゲノム医療とダビンチ手術について体験談を披露した。

安心につながった自由診療カバーの保険

治療法を調べて検討したことが、主治医とのやりとり等、手術を決意するまでの経緯を振り返った。その中の一つ遺伝子を解析するゲノム医療は国が主導しているものの高額な費用を要する自由診療であること、自由診療をカバーする保険であればハードルは低くなること、ダビンチ手術も部位によっては保険が適用されること等を紹介。同氏は

眞木会長が講師に

静岡県代協

日本自販連合会静岡支部で



研修会の様子

自動車ディーラーで組織する日本自動車販売協会連合会の静岡県支部は11月7日、静岡市の自販会館で研修会を開き、静岡県代協の眞木仁会長が「自動車保険業務における法令遵守と組織責任」をテーマに講師を務めた。この研修会は、同支部会員ディーラーの新車担当部長を対象に自動車保険のコンプライアンスや保険取扱いの代理店としてのディーラーの責務について研鑽を積み、目的に実施したもので、